

えんど久子 (別府市選挙区) 堤栄三 (大分市選挙区)

日本共産党16年ぶり県議2議席に

みなさんのご支援のおかげで、別府市選挙区から猿渡(えんど)久子を、大分市選挙区から堤栄三を県議会に送っていただくことができました。別府市からの日本共産党県議は12年ぶり、日本共産党の2議席は16年ぶりです。力をあわせ勉強してしっかりとお役に立てるよう、公約実現にがんばる決意です。ご意見などお気軽にお寄せ下さい。

えんど県議は福祉保健委員会

5月15日の臨時議会で正副議長や常任委員会の構成などが決まりました。えんど久子は希望していた福祉保健生活環境委員会に、堤県議は土木建設委員会に所属することになりました。

国保・防災・温泉なども

5月21日、県議会の今期初めての福祉保健生活環境委員会が開かれました。

福祉保健生活環境委員会は、とても幅広く、福祉・介護・国保・県病・防災減災・危機管理・男女共同参画・自然保護・温泉資源など幅広く所管します。組織と今年度の骨格予算について重点事業を中心に説明を受けました。

広瀬勝貞知事が目指している「子育て満足度日本一」「健康寿命日本一」「障がい者雇用率日本一」この3つの挑戦、どれも福祉保健部の所管となります。



奥の一番左がえんど久子。手前は説明する部課長ら。他の議員の質問に対して、児童相談所の職員を今年4月より計7名増員したと説明がありました。内訳は、ケースワーカー(児童福祉士)を中央児童相談所で4名、中津児相で2名増員。児童心理士を中津児相で1名増員とのことです。県議会第3委員会室にて

県の女性管理職は8.8%

えんど県議は、男女共同参画の問題で大分県の女性管理職について質問。「女性の管理職は36人です。8.8%」との説明です。民間の方がすすんでいるのでは。この問題でもがんばります。

介護や障がい者や保育の職場は人材確保に苦労されているが、介護従事者の数は?との問いに「平成30年度の介護従事者は、厚労省の推計によると大分県下で2万2356人」との答弁でした。

日本共産党県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
Tel.0977-22-6576

No.29
2019.5.22.

消費税10%は中止を

正副議長委員長を自民が独占

5月15日の臨時議会で、日本共産党は、議長選挙は白紙で投票。副議長選挙と常任委員会の委員長・副委員長の選挙は県民クラブの議員に投票しました。しかし、正副議長や各常任委員会や議会運営委員会の正副委員長は、全て自民党が独占しました。

消費税は弱い者いじめの税金

16日の臨時議会で、消費税10%にからむエコカー減税や住宅ローン控除の条例について堤栄三県議が質疑。「景気悪化の中で消費税増税は中止すべき。消費税は大企業減税に消えて社会保障に使われていない。車や住宅を買わない多くの人には恩恵がなく負担増になる。」と堤県議。

消費税は社会保障に適していると広瀬知事

広瀬知事は「消費税増税は避けて通れない。景気に左右されにくく国民が広く負担する消費税は社会保障の財源に適している。確かに、福祉に使われていないという面もあり、だからこそ福祉の安定的財源が必要。10%への引き上げによる負担増は大分県で333億円と見込んでいる」などと答弁。

何度再質問しても、安倍首相の言い分そのままの答弁しかしない知事に呆れてしまいます。

精神医療センター 来年秋オープン

福祉保健生活環境委員会で、県立病院内に建設中の精神医療センターについて来年秋にオープン予定である、休日も夜間も対応していく、との説明がありました。

えんど県議は「精神医療センターはニーズが高いが、大分県は設置が遅かったのはなぜか。全国ワースト何位か？」と質問。

「医師の確保が困難だったことが遅れた原因。大分県は、精神医療センターの設置が全国で最後です」との答弁でした。

今後も、日本共産党は障がい者のみなさんの声を届け、力を合わせて取り組んでいきます。



臨時議会で議案に対する質疑をする堤栄三県議。質問席の台は長身の堤議員に合わせて台の高さを調整することができます。

大分県議会本会議場にて
2019. 5. 16.